



つめをなぜ夜に切ってはいけないの

むかしからよく言われてきました

「夜、つめを切ってはいけないよ。」と、むかしから、よく言われてきました。「夜、つめを切ると、親の死に目にもあえない。」などという言葉もあるくらいです。

つめ切りは、注意ぶかくていねいに

夜、つめを切ることをいやがったのは、1つには、指にけがをさせない思いがあったからです。

むかしは今とちがって、ろうそくやランプの明かりで暮らしていました。あたりがよく見えない、暗いところでつめを切るのは、思わず深づめをしたり、指を傷つける原因にもなりかねません。

もう1つは、切ったつめが目に入ったり、飛び散ったつめが体を傷つけたりすることをいやがったためと思われまます。

つめは、明るいところで、注意ぶかく切ることが大切です。(監修 保志 宏)

